

事務事業名 大規模盛土造成地調査事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1943

施策：	07	防災・減災対策の推進	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標			担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和04年度 ~ 令和06年度	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
宅地耐震化推進事業により県が実施した大規模盛土造成地の第一次スクリーニングにおいて抽出された盛土の内、安全性の把握を行う優先度が高いとされた盛土（6カ所）調査の過程において、3ヶ所追加し9ヶ所を調査することとした。	令和4年度、現地踏査と簡易地盤調査の業務を委託し、第二次スクリーニングの要否を決定する。 R 4年度 国補助 1 / 2（防災・安全交付金） R 5年度以降 国補助 1 / 3（防災・安全交付金）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					
調査箇所について安全性を確認し、詳細な調査を行うかを定める第二次スクリーニング計画を作成する。					

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
進捗率（%）		0	100	0					
		0		0					

5. コスト									
事業費	計	千円	0	3,920					
	国	千円	0	1,959					
	県	千円	0						
	地方債	千円	0						
	その他	千円	0						
	一般	千円	0	1,961					
正職員人工数	人工		0.5	0	0				
正職員人件費	千円		3,864	0					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	0	7,784	0					

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	福岡県が調査した盛土面積3,000㎡以上の「谷埋め型」又は勾配20度以上、盛土高さ5m以上の「腹付け型」大規模盛土造成地のうち、安定性の把握の必要性が高い9ヶ所の盛土について、令和4年度に現地踏査と簡易地盤調査を行った。 直ちに滑動崩落につながるような所見は確認されなかったものの、地下水位が高く地表に変状が見られる盛土が1ヶ所確認された。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	なし		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）						
令和4年度の事業の結果、直ちに滑動崩落につながるような所見は確認されなかったものの、地下水位が高く地表に変状が見られる盛土が1ヶ所確認された。次年度以降、安全性の把握のため、経過観察を行う必要がある。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						
備考・特記事項 or 進行管理欄						
大地震等が発生した場合に、被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地の変動予測調査等、安全性把握のための調査を行い、危険度を調査するもの。 （令和3年7月3日静岡県熱海市で発生した盛土の崩落による土石流災害 令和4年度事業開始）						